

# 解剖学

## Anatomy

教 授	大 谷 修	Osamu Ohtani
助 手	大 谷 裕子	Yuko Ohtani
助 手	松 尾 光浩	Mitsuhiro Matsuo

### 原 著

- 1) Taguchi Y., Takashima S., Sasahara E., Inoue H., and Ohtani O.: Morphological changes in capillaries in the ischemic brain in Wistar rats. Arch. Histol. Cytol., 67: 253-261 (平成 16 年度未掲載) .
- 2) Hayashi N., Masuoka T., Tomita T., Sato H., Ohtani O., and Endo S.: Surgical anatomy and efficient modification of procedures for selective extradural anterior clinoidectomy. Minimum Invasive Nerosurgery, 47: 355-358, 2004 (平成 16 年度未掲載)
- 3) Hayashi N., Hori E., Ohtani Y., Ohtani O., Kuwayama N. and Endo S.: Surgical anatomy of the cervical carotid artery for carotid endoarterectomy. Neurologia Medica-Chirurgica, 45: 25-30, 2005.
- 4) Ueno Y., Sakurai H., Matsuo M., Choo M. K., Koizumi K., and Saiki I. Selective inhibition of TNF-alpha-induced activation of mitogen-activated protein kinases and metastatic activities by gefitinib. Br. J. Cancer, 92: 1690-1695, 2005.
- 5) 岡井 佑, 小野留那, 和倉健朗, 佐藤梨紗, 松尾光浩, 大谷裕子, 大谷 修: 上腸間膜動脈から起こる稀な胆嚢動脈の 1 例. 解剖学雑誌 80, Suppl. 2: 49-50, 2005
- 6) 小柳哲男, 斉藤勇祐, 木場隼人, 竹村京子, 田中伴典, 松尾光浩, 大谷裕子, 大谷 修: 内腸骨静脈の走行異常を伴った重複下大静脈. 解剖学雑誌 80, Suppl. 2: 51-52, 2005
- 7) 松本健司, 三浦正史, 松本裕幹, 水本 健, 田中伴典, 松尾光浩, 大谷裕子, 大谷 修: 95 歳女性に見られた二分肋骨の 1 例. 解剖学雑誌 80, Suppl. 2: 53-54, 2005
- 8) 片山宏祐, 田中伴典, 松尾光浩, 大谷裕子, 長田拓哉, 大谷 修: 肝臓内の動脈の走行と Couinaud の肝区域との関係. 解剖学雑誌 80, Suppl. 2: 55-56, 2005
- 9) 津田岳志, 山崎雅美, 鈴木 亮, 高瀬範明, 高取俊介, 近岡伸幸, 中村拓矢, 大谷裕子, 大谷 修: 上行咽頭動脈—特に内頸動脈から起こる例について. 解剖学雑誌 80, Suppl. 2: 57-59, 2005
- 10) 田中伴典, 宮崎晋一, 松島千紘, 大谷裕子, 大谷 修: 橈骨神経と尺骨神経の交通枝の 3 例. 解剖学雑誌 80, Suppl. 2: 60-61, 2005

### 学会報告

- 1) 田口芳治, 高嶋修太郎, 笹原悦子, 井上 博, 大谷裕子, 大谷 修: ラット両側内頸動脈閉塞モデルにおける毛細血管の形態学的変化に関する研究. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 2) 堀 恵美子, 大谷裕子, 林 央周, 桑山直也, 折笠秀樹, 大谷 修, 遠藤俊郎: 解剖体における頸動脈分岐部アテロームプラークの形成と形成部位における血管壁構造の形態学的特徴. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 3) 大谷裕子, 大谷 修: 上腸間膜動脈と下腸間膜動脈との間に縦吻合を持つ中腸間膜動脈 middle mesenteric artery の一例. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 4) 岡井 佑, 小野留那, 和倉健朗, 佐藤梨紗, 松尾光浩, 大谷裕子, 大谷 修: 上腸間膜動脈から起こる稀な胆嚢動脈の 1 例. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 5) 小柳哲男, 斉藤勇祐, 木場隼人, 竹村京子, 田中伴典, 松尾光浩, 大谷裕子, 大谷 修: 内腸骨静脈の走行異常を伴った重複下大静脈. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 6) 松本健司, 三浦正史, 松本裕幹, 水本 健, 田中伴典, 松尾光浩, 大谷裕子, 大谷 修: 95 歳女性に見られた二分肋骨の 1 例. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 7) 片山宏祐, 田中伴典, 松尾光浩, 大谷裕子, 長田拓哉, 大谷 修: 肝臓内の動脈の走行と Couinaud の肝区域との関係. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 8) 津田岳志, 山崎雅美, 鈴木 亮, 高瀬範明, 高取俊介, 近岡伸幸, 中村拓矢, 大谷裕子, 大谷 修: 上行咽頭動脈—特に内頸動脈から起こる例について. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005, 3, 富山 .
- 9) 田中伴典, 宮崎晋一, 松島千紘, 大谷裕子, 大谷 修: 橈骨神経と尺骨神経の交通枝の 3 例. 第 110 回日本解剖学

会総会・全国学術集会，2005，3，富山．

- 10) Uemura T., Tanaka T., Ohtani Y., Murakami G., and Ohtani O.: Quantitative analysis of arterial branches of the left ventricular free wall. 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会，2005，3，富山．
- 11) 大谷 修：解剖学実習：学生は科学する力を育み、臨床医学に必要な基礎知識を習得する．パネルディスカッション「解剖学教育：いつ，何を，どのように教えるか」第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会，2005，3，富山．
- 12) 大谷 修，大谷裕子：立体視は解剖学・組織学の学習を助ける．シンポジウム「立体画像による解剖・組織学」第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会，2005，3，富山．
- 13) 大谷 修，大谷裕子：微小血管は臓器特異的構築を示す．シンポジウム「血管系をめぐって：部位特異性と形成機構の問題点」第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会，2005，3，富山．
- 14) 大谷 修，大谷裕子：人体解剖学実習から：学生による調査・研究ならびに中腸間膜動脈の一例．第 9 回臨床解剖研究会，2005，6，千葉．
- 15) Ohtani O., and Ohtani Y.: Aquaporin-1 expression in vascular and lymph fluid pathways of rat lymph nodes. The 4<sup>th</sup> International Conference on Aquaporins “Aquaporine 2005”, 2005, 9, Brussel.
- 16) 大谷裕子，大谷 修：リンパ管の再生．シンポジウム「リンパ管・リンパ組織系の系統発生，個体発生及び再生最近の展開」第 29 回日本リンパ学会総会，2005，7，山口．
- 17) 松尾光浩，櫻井宏明，上野陽子，大谷 修，済木育夫：フィブロネクチンによる EGFR シグナル伝達経路の活性化，第 64 回日本癌学会学術総会，2005，9，札幌．
- 18) 松尾光浩，小泉桂一，山田紗奈衣，登美齊俊，上田正次，帯刀益夫，細谷健一，大谷 修，済木育夫：温度感受性 SV40 T-antigen トランスジェニックラットを用いた血管およびリンパ管内皮細胞株の樹立，日本解剖学会第 65 回中部支部学術集会，2005，10，金沢．

## その他

- 1) 大谷 修：現代の医療・解剖学教育に対する献体登録者の理解～日本解剖学会コメディカル教育委員会の立場から～(招待講演) 篤志解剖全国連合会第 30 回団体部会・大学部会合同研修会，2005，3，富山．
- 2) 大谷 修：医学科解剖学教育者の立場から見たコ・メディカル解剖学教育．(招待講演)シンポジウム「コメディカルの解剖学教育」2005，10，名古屋．